

Cisco Unified Communications Manager 5.x/6.x/7.x - 「My Fast Dial」 および 「Personal Address Book」 の問題のトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[HTTP エラー \(404 \)](#)

[解決策](#)

[PAB およびファースト ダイヤルがログアウトできない](#)

[解決策](#)

[エラー : Press button directories twice](#)

[解決策](#)

[CCMUser Web ページからファースト ダイヤルを変更できない](#)

[解決策](#)

[サービス ボタンからパーソナル ディレクトリにアクセスできない](#)

[解決策](#)

[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用](#)

[ファースト ダイヤル](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、マイ ファースト ダイヤルと個人アドレス帳という IP フォンの 2 つの機能を Cisco Unified Communications Manager 5.x/6.x/7.x で使用した場合によく発生する問題について説明します。

前提条件

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、Cisco Communications Manager 5.x/6.x/7.x に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

さい。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

HTTP エラー (404)

Cisco Communications Manager を 4.x から 5.x にアップグレードすると、マイ ファースト ダイヤル サービスと個人用アドレス帳サービスが機能せず、IP 電話の画面に HTTP エラー (404) が表示されます。

解決策

この問題は、Cisco Communications Manager 5.x で行われた設計変更によるものです。Cisco Communications Manager 4.2 以前は、個人用アドレス帳 (PAB) とマイ ファースト ダイヤルは、一式の Web ページと、IP 電話 Web サービス、ActiveX オブジェクト、およびライブラリで構成されていました。Cisco CallManager 5.0 では、IP 電話 Web サービスが Active Server Pages から JavaServer Pages に変わりました。

Cisco Unified Communications Manager 5.x では、個人用アドレス帳とマイ ファースト ダイヤルは Unified Communications Manager に統合されました。

前のリリースでは、パーソナル ディレクトリは、サブスクライブする IP 電話サービスでした。つまり、ユーザがサブスクライブする前に、管理者がパーソナル ディレクトリの IP 電話サービスを提供する必要がありました。Cisco Unified Communications Manager 5.x で、パーソナル ディレクトリはサブスクリプション サービスではなくなりました。したがって、管理者がこのサービスを提供する必要はありません。

1. [Directory] アイコンをクリックしてパーソナル ディレクトリを表示します。
2. 現在、マイ ファースト ダイヤルと個人用アドレス帳は、[Personal Directory] セクションにあります。
3. IP 電話で [Directories] > [Personal Directory] > [Login] の順に選択し、ユーザ ID と PIN を使用してください。
4. マイ ファースト ダイヤルおよび PAB が表示されます。

注: 上の手順で問題が解決しない場合は、サーバの Cisco Tomcat Service を再起動してください。

PAB およびファースト ダイヤルがログアウトできない

電話機のエクステンション モビリティ (EM) に新しいユーザがログインしても、個人用アドレス帳 (PAB) とファースト ダイヤルがログアウトされません。ある電話機の PAB とファースト ダイヤルにログインした後に、別のユーザがその電話機の EM にログインした場合に、元のユーザの PAB とファースト ダイヤルがログインしたまま残ります。

解決策

EM にログインしてユーザ デバイス プロファイル (UDP) を取得するには、[Directories] >

[Personal Directory] > [Login] の順に選択して PAB とファースト ダイアルにログインする必要があります。EM からログアウトした場合も、もう一度 [Directories] > [Personal Directory] の順に選択して PAB とファースト ダイアルからログアウトする必要があります。このようにしないと、EM からログアウトしても PAB とファースト ダイアルはその電話機でアクティブなままになります。詳細は、Cisco Bug ID [CSCsi98094](#) ([登録ユーザ専用](#)) を参照してください。

[エラー : Press button directories twice](#)

パーソナル ディレクトリにアクセスしようとする、エラー メッセージ「Press button directories twice」が表示されます。

[解決策](#)

この問題の解決策は、Cisco Bug ID [CSCsi95467](#) ([登録ユーザ専用](#)) に記述されています。

[CCMUser Web ページからファースト ダイアルを変更できない](#)

ユーザが CCMUser Web ページからファースト ダイアルを変更できません。

[解決策](#)

この問題を解決するには、エンタープライズ パラメータ [Show Speed Dials] を [True] に設定します。

[サービス ボタンからパーソナル ディレクトリにアクセスできない](#)

CIPC では、[Directories] ボタンからパーソナル ディレクトリにアクセスできますが、[Services] ボタンからはアクセスできません。

[解決策](#)

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. [Device] > [Device Setting] > [Phone Services] の順に選択します。パーソナル ディレクトリの [service URL] に次の URL を設定します。
`http://ipaddress:8080/ccmpd/pdCheckLogin.do?name=#DEVICENAME#&service=pab`注: IP アドレスを使用しているサーバの IP アドレスに変更します。
2. サービス タイプを [Standard IP Phone service] に設定します。
3. 変更内容を [Save] し、サブスクリプションを [Update] します。
4. CIPC を再起動します。

[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用](#)

ファースト ダイヤル

ファースト ダイヤルは、URL <http://servername-or-ipaddr:8080/ccmpd/login.do?name=#DEVICENAME#&service=fd> のサービスです。userid と pin のパラメータでは大文字と小文字が区別されます。pin は、内容がマスクされた状態で構成されます。

電話に設定するカスタム電話ボタン テンプレートで、パーソナル ディレクトリ サービスにリンクさせた回線ボタンを押すと、パーソナル ディレクトリを使用してファースト ダイヤルにアクセスできます。パーソナル ディレクトリ フィーチャ セットには、個人アドレス帳 (PAB) とファースト ダイヤルが含まれています。

新しいファースト ダイヤル コードを追加するには、次の手順を実行します。

1. IP 電話で、[Directory] ボタンを押します。
2. [Personal Directory] > [Personal Fast Dials] の順に選択します。
3. [Fast Dial] を押します。
4. 割り当てられていないファースト ダイヤル コードを強調表示し、[Select] を押します。
5. [割り当て (Assign)] を押します。
6. 電話番号を入力します。
7. [Update] を押します。

関連情報

- [パーソナル ディレクトリ](#)
- [CallManager バージョン 6.x の個人用アドレス帳](#) [CallManager バージョン 6.x の個人用アドレス帳](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)